

覽古考新

岡谷市史編さん室だより『覽古考新』No.20

2024(令和6)年 9-①

岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷市史編さん室 編集・発行

岡谷市中央町1-11-1 イルプラザ3F

TEL 0266-78-8455

WEBはこちら



覽古考新：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

シリーズ 岡谷市史下巻以降のおもなできごと ⑪ 防災—前編

広報誌などから旧市史<岡谷市史下巻1982(昭和57)年刊行. 編年：昭和20年～昭和53年>以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「防災」関係で、前編・中編・後編を順次発行します。前編では、塚間川浸水被害対策と釜口水門を中心に取り上げます。

西暦	和暦	年	月	出来事
1981	昭和	56	7	集中豪雨により塚間川氾濫など市内各所に被害発生
1983	昭和	58	9	台風10号、湊・川岸を中心に被害もたらす
1985	昭和	60	6	台風6号で市内各所に被害が発生
1987	昭和	62	8	塚間川激甚災害対策特別緊急事業が完了
1988	昭和	63	7	新釜口水門が完成
1989	平成	1	3	県による大川改修工事が完了
1991	平成	3	4	岡谷市防災行政無線がスタート
1992	平成	4	9	初の夜間総合防災訓練
1995	平成	7	8	横川山が「水源の森百選」に選ばれる
1995	平成	7	9	阪神・淡路大震災の教訓を生かし、防災訓練を各地区ごとに実施
1997	平成	9	9	総合防災訓練を上原小学校で実施 松本の自衛隊が初参加
1998	平成	10	1	数十年ぶりの記録的な大雪(3回)
1998	平成	10	10	防災ガイド初版を発行
1999	平成	11	6	豪雨により市内各所に被害
2001	平成	13	1	記録的な豪雪
2001	平成	13	6	長野県総合防災訓練を岡谷市で開催
2001	平成	13	11	「岡谷市除雪マニュアル」を策定
2006	平成	18	7	「平成18年7月豪雨災害」発生
2013	平成	25	8	ゲリラ豪雨で大川、塚間川などがいつ水



集中豪雨で氾濫寸前の塚間川

画像出典：「市報おかや」
昭和57年2月15日号 p.2

1995(平成7)年1月
阪神淡路大震災

塚間川激甚災害対策特別緊急事業

昭和56年7月13日の集中豪雨では、塚間川、大川が氾濫し約3,000戸に及ぶ多数の家屋や事業所が床上及び床下浸水の被害を受けたほか、JR中央本線も岡谷駅付近で浸水をするなど、その浸水被害は105haに及んだ。これを契機として河川激甚災害対策特別緊急事業の採択がなされ、地域住民の生命、財産を守り、水害のない快適な街づくりをめざし、塚間川を抜本的に改修することになった。

この事業は、県が昭和56年度に着工し昭和63年3月に完成させた。

参考文献：「市報おかや」 昭和57年2月15日号 pp.2-3



図出典：諏訪建設事務所が公表する浸水想定区域図〔塚間川・大川〕
令和5年11月30日公表(長野県諏訪建設事務所整備課HP)に市史編さん室加筆

その後のさらなる浸水被害対策

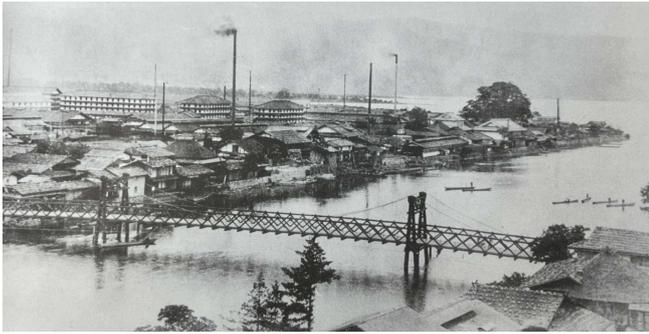
◆「塚間川流域浸水被害対策プランの概要」
長野県建設部河川課HP H27市と県が調印

◆社会資本総合整備計画書
R2「塚間川流域浸水被害対策プラン」
岡谷市HP



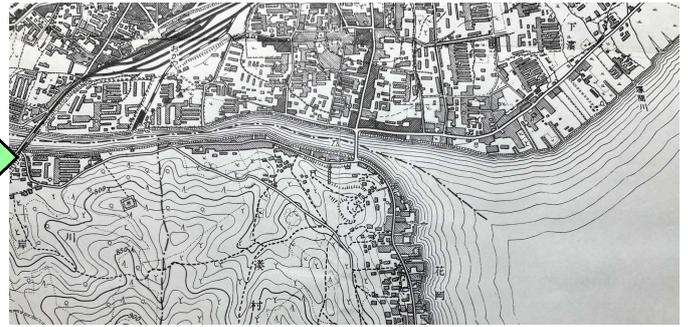
塚間川写真6枚：2024年 市史編さん室撮影

「釜口」の今（いま）・昔（むかし）



1916（大正5）年頃の釜口橋付近

画像出典：「ふるさとの歴史 製糸業」1994（平成6）年 岡谷市教育委員会発行 p19

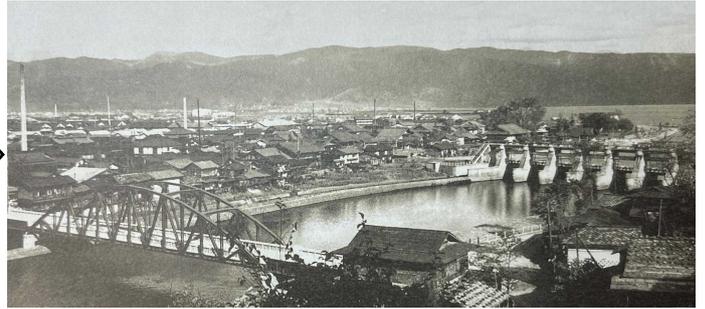


地図：1928（昭和3）年 平野村及其附近圖1/10000（部分）
水門はまだない



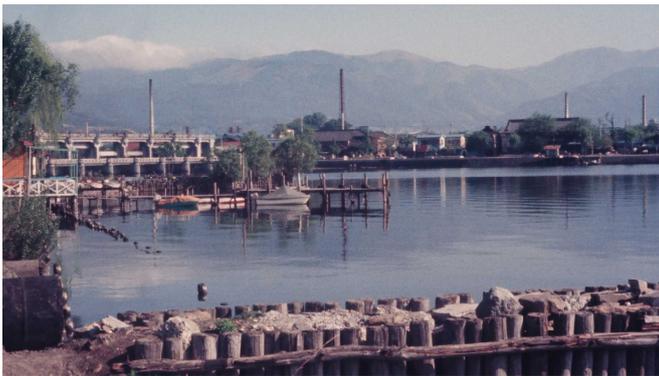
1932（昭和7）年 つり橋の釜口橋がアーチ型構造の橋へ

画像出典：「ふるさとの歴史 製糸業」1994（平成6）年 岡谷市教育委員会発行 p20



昭和11年（旧）釜口水門竣工

画像出典：「ふるさとの歴史 製糸業」1994（平成6）年 岡谷市教育委員会発行 p21



1965（昭和40）年 左手に（旧）釜口水門
製糸工場の煙突が見える

写真：岡谷市川岸 鮎澤 毅氏 提供



現在の釜口水門

待望の新釜口水門が完成

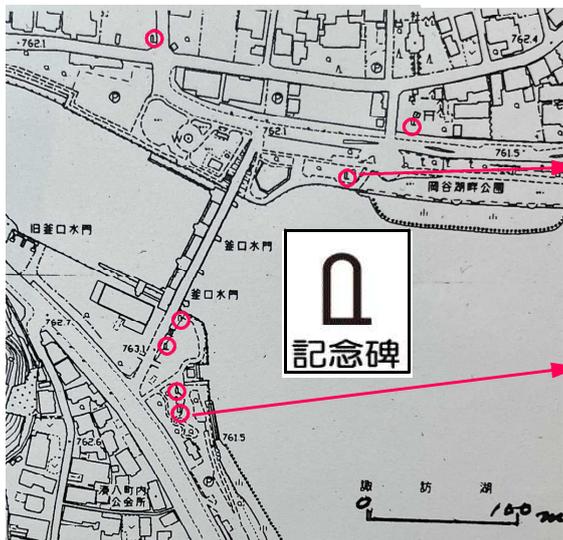
写真：2024年 市史編さん室撮影

最大放流量600m³/秒で旧水門の3倍の能力、テレメーター観測設備や放流警報設備などを導入した最新設備の水門。昭和63年7月18日、管理橋で吉村知事らが水門の始動式を行った。

画像出典：広報おかや 昭和63年8月1日号表紙

地図記号ひとロメモ

今回は「記念碑」です。碑がいくつか確認できます。



記念碑



上・下写真：2024年 市史編さん室撮影



「治水碑」
長野県知事
吉村 午良 揮毫
S46.7.18除幕



諏訪の湖
天龍となる
釜口の
水しづかなり
絹のごとくに

拓本：岡谷市生涯学習課蔵 与謝野晶子（1878-1942）

再像写真出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』（パブリックドメイン）

文学碑について：大正14年1月、晶子は夫鉄幹、画家 石井柏亭らと岡谷に来遊。天竜河畔を訪れてこの歌を詠む。市内や塩尻峠にも足を伸ばし、多くの歌を残す。この歌はその折りの連作「下諏訪にて」のうちの一詩。のち、文学碑建設の気運高まり、昭和47年4月28日除幕。書は丸山 蕙仙氏による。
（文学碑裏面「おぼえがき」を要約）

図：2020（令和2）年 岡谷市都市計画基本図 1/2500（部分複写）に市史編さん室加筆